

## 国土交通省政策会議（第18回）議事要旨

1. 日時 平成22年3月30日（火）8：00～9：00

2. 場所 衆議院第一議員会館 第1会議室

3. 出席者

【国土交通省】辻元清美副大臣、藤本祐司大臣政務官

4. 議題

○観光立国の推進について

5. 議事要旨

（1）挨拶

（2）議事要旨

○配付資料に沿って説明

○質疑

（3）出席議員からの主な意見

- ・ 休暇分散化については、ドイツで行われているように、学校の夏季休暇をずらすことが有効と考えるが、文部科学省との連携はどのようになっているのか。
- ・ 観光連携コンソーシアムについて、観光庁はどのようなリーダーシップを発揮してとりまとめるのか。
- ・ 建設中の「東京スカイツリー」が高さ日本一になったこともあり、墨田区は観光客で大変混雑している。観光振興のためには周辺整備が重要であり、まちづくり交付金のような制度を引き続き継続してほしい。
- ・ 遊歩道整備や電線地中化、東京下町地区の文化財の観光資源としての活用等、都市部のまちづくり施策と一体となった観光振興について、検討状況はどうなっているか。
- ・ 休暇分散化については、祝日の由来への意識が薄れる、祝日に行事が開催できなくなる、本社と支社の休みが異なることになる等の懸念の声が上がっているが、これらデメリットに対してはどのように説明するのか。
- ・ 訪日外国人3000万人の実現に向けて、医療特区のようなものを検討して、我が国でなければ受けられない高度医療を推進するべきではないか。また、カジノについて検討する必要もあるのではないか。

- ・ 中国人観光客については、中国語対応等の受入体制をどのように整備していくのか。また、犯罪増加への懸念についてはどのように対応するのか。
- ・ 宿泊施設をはじめ、訪日外国人3000万人を受け入れるキャパシティは現実的には厳しいのではないか。受入体制全体のレベルアップが必要と考えるが、どのような検討状況か。
- ・ プロモーションの主体として、もっと民間を活用すべきではないか。
- ・ 成田空港近辺においても中国語案内標識は未設置であり、さらなる整備が必要と考える。
- ・ 観光庁予算には、市町村への補助金のような制度はあるのか。
- ・ 在外公館、地方自治体との連携を重視してほしい。
- ・ 韓国で人気を集めている健康や医療をテーマにした観光振興に力を入れるべきではないか。
- ・ 道東を舞台とした中国映画が大ヒットし、多くの中国人がロケ地を訪れている。政府としても、このような映画を活用したPRを行うべきではないか。
- ・ 航空運賃について、海外航空会社と対抗できるような料金体系が必要と考える。地方路線は割高な運賃が設定されているが、政策的にこれを下げることによって観光振興を図るべきではないか。沖縄は北海道よりキロ単価の運賃が安いので観光客が沖縄に行ってしまうので北海道は困る。

～以上～